

菜ないろいろ!

vol. **5**

2024



JA西春日井
マスコットキャラクター
みのりん

令和5年度 事業報告

JA西春日井 自己改革の取組

ほんの小さな行動が 地域の農業を支えます

地域の農業を守り育てる
生産者の皆さん **農業の守り人**

JA西春日井のお店へGo!
アグリマルシェはるひ・グリーン西春日井



おまかせください! JA西春日井で **年金を受け取ると
オトクがいっぱい!!**

お取扱期間
2024年 2025年
4月1日 3月31日

年金受取とくとく定期
年金受給者専用定期貯金

年 **0.30%**
(税引後 年0.239%)

期間: 1年
対象となる方 公的年金の振込を確認できる方
預入限度額 お一人様300万円

●自動継続スーパー定期1年もの、元金のみ継続扱いに限り。●お預け入れ金額は、10万円以上1万円単位となります。●お預け入れ時の金利は、満期日まで変わりません。●初回満期日以降の金利は、継続日当日の店頭表示金利となります。●1年ごとに継続のお手続きが必要となります。●店頭にて説明書をご用意しています。

JAゆうゆう定積
年金受給者向け定期積金

年 **0.20%**
(税引後 年0.159%)

期間: 1年、2年、3年、4年、5年

対象となる方 公的年金の振込を確認できる方

払込金額 1回あたり1,000円以上
(原則、お受取りになる1回あたりの年金額の範囲内とします。)

●契約時の約定利回りを満期日まで適用します。●店頭にて説明書をご用意しています。

無料年金相談会
時間/午前9時~正午
担当者/社会保険労務士

開催日程・場所 年金についての相談や疑問をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

2024年 7月	17日(水)	清洲支店	10月	16日(水)	清洲支店	2025年 1月	15日(水)	清洲支店
	18日(木)	師勝支店		17日(木)	師勝支店		16日(木)	師勝支店
8月	14日(水)	西春支店	11月	20日(水)	西春支店	2月	19日(水)	西春支店
	15日(木)	新川支店		21日(木)	新川支店		20日(木)	新川支店
9月	18日(水)	西枇杷島支店	12月	18日(水)	西枇杷島支店	3月	11日(火)	西枇杷島支店
	19日(木)	春日支店		19日(木)	春日支店		12日(水)	春日支店
	20日(金)	青山支店		※ご予約・お問い合わせは、開催店舗へご連絡ください。※事情により中止・変更させていただく場合がございます。				

- ☑ご持参いただくもの
- ご夫婦の年金手帳・基礎年金番号通知書
 - 年金証書(すでに受給されている方)
 - 雇用保険被保険者証
 - 日本年金機構から届いた書類(「ねんきん定期便」など)

JA西春日井は地元の農業を応援しています。 2024年7月末日まで実施

サマーキャンペーン 実施中

詳しくはこちら

令和5年度 事業報告

令和6年6月22日、名古屋芸術大学アートスクエアで開催しました第49回通常総代会において、令和5年度の事業報告が承認されました。主な内容は以下の通りです。

令和5年度 貸借対照表の主要項目

令和6年3月31日現在

(西春日井農業協同組合)
(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	239,989,477	1. 信用事業負債	221,809,363
2. 共済事業資産	5,928	2. 共済事業負債	311,850
3. 経済事業資産	72,436	3. 経済事業負債	23,884
4. 雑資産	153,604	4. 雑負債	413,908
5. 固定資産	2,569,579	5. 諸引当金	117,340
6. 外部出資	7,037,125	負債の部合計	222,676,348
7. 前払年金費用	15,663	(純資産の部)	
8. 繰延税金資産	63,002	1. 組合員資本	27,251,318
		2. 評価・換算差額等	△ 20,849
		純資産の部合計	27,230,469
資産の部合計	249,906,818	負債及び純資産の部合計	249,906,818

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、それぞれの項目合計が合わないことがあります。

令和5年度 損益計算書の主要項目

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(西春日井農業協同組合)
(単位:千円)

科目	金額
1. 事業総利益	1,740,861
信用事業総利益	1,255,914
共済事業総利益	388,713
購買事業総利益	28,991
販売事業総利益	21,797
不動産事業総利益	51,617
利用事業総利益	9,196
その他事業総利益	862
指導事業収支差額	△ 16,231
2. 事業管理費	1,189,856
事業利益	551,004
3. 事業外収益	130,856
4. 事業外費用	15,268
経常利益	666,592
5. 特別利益	2,933
6. 特別損失	37,256
税引前当期利益	632,269
法人税等合計	174,218
当期剰余金	458,051

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、それぞれの項目合計が合わないことがあります。

ごあいさつ



西春日井農業協同組合
代表理事組合長 丸山 武司

向夏のみぎり、組合員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、JA事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度、国内では新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行され、以後インバウンド効果による経済の回復基調が続きました。一方で不安定な国際情勢や外国為替市場における円安の進行などを受け、エネルギー・食料価格は値上げが相次ぎ、わたしたちの暮らしに大きな影響を与えました。

金融業界では日銀によるマイナス金利解除等の政策転換が予想され、国内農業においては輸入原材料の価格上昇による肥料・資材の高止まりが続くという厳しい状況にありましたが、当JAは組合員の皆さまに支えられ、所期の目標を達成することができました。

令和6年度につきましても、組合員皆さまとの対話を軸に、皆さまからいただいた貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、ご期待に添えるよう組合運営に生かすとともに、健全・堅実な事業運営に努めてまいります。

管内の農業を維持・継承していくためには、当JAが「地域農業の応援団」と位置づける准組合員の皆さまのお力添えが不可欠となってまいります。

今後とも、当JAの産直施設「アグリマルシェはるひ」や営農購買店舗「グリーン西春日井」を積極的にご利用いただき、地元農産物の地産地消並びに地域農業の振興にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

もっと農業! もっとJA!



応援の形は様々!

ほんの小さな行動が地域の農業を支えます!

JA西春日井管内では、農業従事者の高齢化や後継者不足、また農地の宅地化などによって、農業規模が年々縮小傾向にあります。

地域の大切な財産でもある農業をこの先も維持・継承していくためには、地産地消の拡大や地域農業への理解醸成を図るうえで准組合員の皆さまのお力添えが必要不可欠です。

そうしたなか、農家所得の向上・都市農業の持続的発展に向けた自己改革の取組の一環として、昨年度開催したJA役職員との意見交換会等では、准組合員の皆さまから地域農業やJA事業に対する貴重なご意見を多数いただきました。

JA西春日井は、組合員皆さまからいただいたご意見・ご要望を精査し、今後の事業運営に生かしてまいります。

意見交換会



常勤役員・職員との意見交換の様子



産直出張販売を体験する様子

支店で開催した産直出張販売を体験していただきました。その後、支店会議室に場所を移し、常勤役員をはじめ本部及び支店の職員と共に、テーマに沿って意見を交わしました。

テーマ

- 産直出張販売を体験した感想について
- 普段、情報を得ている媒体について
- 地域農業振興に向けたイベントについて
- 産直施設「アグリマルシェはるひ」について
- JAの情報発信について

収穫体験



収穫体験の様子

地域農業への理解醸成と地産地消の促進を目的として、北名古屋市の畑でサトイモ・ニンジンなどの収穫体験会を実施しました。体験終了後には、アンケートにご協力いただき、JAの取組に関してご意見をうかがいました。

アンケートの主な内容

- 自己改革の認知度
- JAの情報発信について
- アグリマルシェはるひの利用の有無
- 参加したいイベントについて
- JAに期待すること



料理教室



調理の様子

地元農産物のPRと消費拡大を目的に、地域特産野菜のホウレンソウを素材にした料理教室を実施しました。

調理に先立ち、丸山組合長が日頃の感謝と更なる理解・協力を呼びかけてあいさつし、担当職員が料理教室開催の主旨と自己改革の取組状況について説明しました。

調理・試食後は収穫体験と同様、アンケートにご協力いただきました。

調理メニュー

- ツナとホウレンソウのドライカレー
- ホウレンソウとエビのグラタン 他

令和5年度
JA西春日井

自己改革の取組

JA西春日井では、平成29年に策定した「JA西春日井農業ビジョン」の実現に向けて、**農業者・農地・生産・販売支援**の個別ビジョンを設定し、自己改革を進めています。



アグリスクールを通じて産直会員の育成に努めました

農業者

新規就農者の確保と多様な担い手に対する育成・支援に取り組みます。

アグリスクールの開講 第7期

12人参加 / 全20回実施(実習・講義)

各種講習会の開催

栽培・農業用資材等 / 9回実施

産直部会への栽培指導

春夏野菜1回、秋冬野菜1回、果樹2回

農業・営農支援対策

肥料、農機具購入助成

レンタル農機利用実績

・112件(3月末時点)



農地

行政と連携し、都市農地を「食」と「農業体験」と「環境」を通して農地の保全・有効活用に取り組みます。

農地・営農相談室の運用

農地相談22件、営農相談200件(3月末時点)

収穫体験会の実施

ジャガイモ / 116人参加、サトイモ / 87人参加

農産物コンクールの開催

アグリマルシェはるひ隣営農倉庫にて実施 / 応募総数211点

産直施設子ども店長体験イベント実施

アグリマルシェはるひ / 6人参加

教育機関の食育活動サポート

稲作実習2校、イチジク農家見学1校、トウモロコシ収穫体験1園



農業体験等を行い管内小学校・幼稚園の食育活動をサポートしました

生産・販売支援

農産物の品質向上と販路の確保・産直施設の充実を図り地産地消の促進に取り組みます。

産直施設の充実・売り出しイベントの定期開催

産直部会員179人(3月末時点)

6次産業化商品の新規企画・販売

ボンせん(信長米使用)

契約出荷の取組

ホウレンソウ、エダマメ、パセリ、ブロッコリー

土壌診断の活用

193点(3月末時点)

稲作農家支援

カントリーエレベーター
乾燥調製料の割引実施

農業応援定期貯金キャンペーンの実施

産直店舗・営農購買店舗の利用促進

JA西春日井管内産の信長米を使った「ボンせん」を企画・販売しました。醤油風味で食感もよく、幅広い年代の方に食べていただけることから、産直施設だけでなく出張販売などでも人気の商品です





エビとレンコンのマヨネーズ和え



材料(4人分)

エビ	16尾	塩・コショウ	少々	ケチャップ	小さじ1	レンコン	60g
片栗粉	大さじ1	片栗粉	大さじ2弱	レモン汁	小さじ1	揚げ油	適宜
A 水	50cc	小麦粉	大さじ2	マヨネーズ	大さじ4~5	レタス	適宜
塩	小さじ1/2	水	大さじ3	B 練乳	大さじ1		

- 作り方
- ① ボウルにAを入れ、皮をむいて半分の長さに切ったエビを加えてもみこむ。
 - ② ①をざっと水で洗い、ザルに上げてしっかり水分を取り、塩・コショウを振る。
 - ③ ②をポリ袋に入れて片栗粉を上から振りかけ、袋に空気を入れてよく振る。
 - ④ 小麦粉と水を混ぜたものに③をくぐらせ油で揚げる。レンコンは皮をむき3mmほどの厚さに切って素揚げする。
 - ⑤ ボウルにBを入れて混ぜ④を加える。衣がはがれないよう注意しながら軽く混ぜる。
 - ⑥ レタスを大きめにちぎって器に敷き⑤を中心に盛り付けて完成。

JA西春日井のお店へ Go!
JA西春日井
「組合員様限定クーポン券」お使いいただけます!

地元農産物が魅力!

アグリマルシェはるひ

イベントを開催します

8月10日土~14日水 ※8月14日(水)は臨時営業いたします
毎年恒例、お盆前の特別セール!

9月21日土~24日火
お彼岸用に切り花を多数ご用意!



スタッフのおすすめ!

清須市産エダマメ使用!
ずんだ餅 ※7月中旬~

北名古屋産イチジク使用!
いちじくプリン ※8月中旬~

店舗情報 SHOP INFORMATION

営業時間 午前9時~午後5時 定休日 毎週水曜日・年末年始

所在地 清須市春日振127

TEL 052-400-8311

野菜づくりはお任せください!

グリーン西春日井

イベントを開催します

8月24日土~27日火

秋作に向けた肥料や農薬、農業用資材など、お値打ち価格でご用意!



スタッフのおすすめ!

レンタル農機各種
ご利用いただけます

管理機・マルチチッパー・
マルチ管理機・畦草刈り機・
電動刈払機をご用意!
店頭でお申し込みください。

栽培講習会を無料開催! 内容・日程は店頭掲示

店舗情報 SHOP INFORMATION

営業時間 午前9時~午後5時 定休日 毎週水曜日・年末年始

所在地 北名古屋市石橋郷68

TEL 0568-24-1662



共通のサービス

- ① 毎週火曜・木曜は、精算時に**グリーンカード**ご提示でお会計が割引に!!
- ② お米(玄米)はご希望の量(1kg単位)を購入可能! **お好みに合わせて精米**いたします!
- ③ 毎週金曜日は各店舗指定銘柄米が**玄米1kgあたり50円引き!**対象銘柄はイベントカレンダーでご確認を!

大口さんは、北名古屋市の鹿田地区で市特産のイチジク栽培に取り組んでいきます。手がける品種は「梶井ドーフィン」と「サマーレッド」。2月に枝の剪定を行い、雨が多くなるこの時期は天候に気を配りながら、8月から10月中旬の出荷を目指し、日々生育を見守っています。

そんな大口さんの力強いパートナーが妻の千代子さんです。栽培管理や収穫作業は大口さん、品づくりと出荷確認は千代子さんと役割分担されているとか。大口さんは「一緒に作業をしているとダメ出しをされることもあるが、明るくて行動力がある奥さんに支えられ、二人三脚でイチジク栽培を続けてこられた」と、これまでを振り返り笑顔を見せます。



師勝いちじく出荷組合長
アグリマルシェはるひ産直部会員
大口 進さん
千代子さん

大口さんが栽培するイチジクは、市場のほかアグリマルシェはるひにも出荷され、旬の時期売り場に並んだ早朝採れたての完熟イチジクは消費者から人気です。

JA西春日井オリジナル商品として限定販売する「いちじくプリン」にも素材提供するなど、イチジクの消費拡大に積極的に取り組む大口さん。「良き理解者の奥さんをはじめ、地元で共に栽培に取り組む仲間と助け合いながら、力の続く限り地域の農業を守っていききたい」と話しました。



『農業の守り人』

— People who Support agriculture —

地域の農業を守り育てる
生産者の皆さん

家業の農業を幼い頃から手伝っていたという太田さん。自身は会社を退職後、市の農業塾で栽培技術を学び、本腰を入れて農業に取り組み始めました。

「当初は、耕うんの仕方や肥料の選択など、わからないことが多くて苦戦した」と話す太田さん。専門書で調べたり、仲間と情報交換をしながら「失敗したらまた考える」の信念を持って地道に農業と向き合ってきました。

そんな太田さんがJAの直売所に出荷するきっかけになったのが、以前から育てていたというジャンボニンニク。店長の声掛けに応えたもので、それ以後は季節野菜を中心に栽培出荷に取り組んでいます。



アグリマルシェはるひ産直部会員
太田 好治さん

現在はエダマメに力を入れているそうで、2月の播種開始から時期をずらし品種を変えながら9月いっぱいまでの長期出荷を目指し、栽培に挑戦中とのこと。

「お客さんから『太田さんのエダマメは味が濃くておいしい』と言われてもらえると、うれしいし張り合いがある」と笑顔を見せる太田さん。「これからも産直の強みである『面白い状態での出荷にこだわり、消費者に喜ばれる野菜づくりに努めたい』と話しました。

主な出荷品

- ・エダマメ
- ・ナス
- ・ミニトマト

